

大江家系図 (村上・今津・安東)

今津作右衛門 今津組の大庄屋
井堰の必要性を藩に陳情、小笠原長胤の貞享3年(1686)工事を始め元禄2年(1689)荒瀬井堰の通水に成功、修理運営の筆頭責任者でもあった。

大江 玄仙(1710-1792)
23年間御殿医を勤める
長崎で栗崎道喜から南蛮流(栗崎流)の免許状(1754)

大江 文明(1757-1812)
30年間 御殿医を勤める

大江 元泉(1768-1825)
文化9年表医師を勤める 杏蔭齋正骨術の開祖吉原元棟から整骨免許状

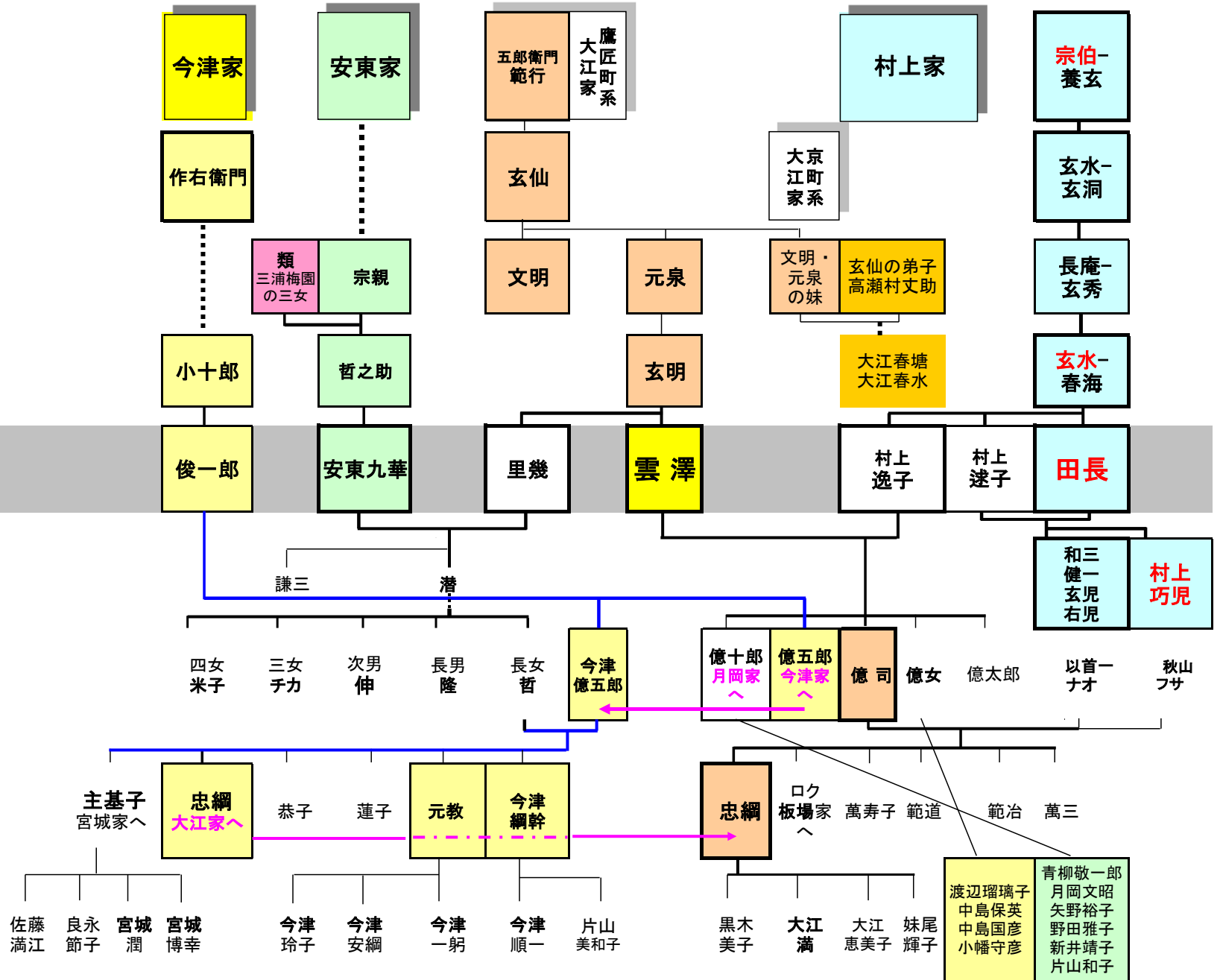
大江 玄明(1799-1877)
25年間 御殿医を勤める

大江 雲澤(1822-1899)
天保11年(1841)華岡医塾大阪分塾に入門、1849年家督相続 御殿医を勤める 100石

大江 億司(1864-1919)
1880年 家督相続、明治19年大分医学校卒 明治38年郡会議員、43年議長を務める、大正8年県会議員、

大江 忠綱(1910-2001.1/30)
東京慈恵会医大卒 父の今津億五郎の生家 大江家の養子となる

安東 九華(1825-1904)
明治の西国東郡の英雄で学者、書家、政治家。帆足万里に学び寺子屋を開く。後に衆議院議員



今津 億五郎 陸軍軍医大尉
今津 綱幹 陸軍軍医少将